

新しい千葉県地震被害想定調査の方針等について

- 1 基本方針
- 2 検討体制とスケジュール
- 3 ボーリング調査について

基本方針

わかりやすく、つかいやすい被害想定とすること

- 県民、事業者、市町村等の関係者がわがこととして捉えることができるよう、わかりやすくとりまとめる。
- 様々な被害状況への対応を検討するため、震源の異なる複数の地震について被害量を算出する。
- 想定結果はプロセスも含めて、可能な限りオープンデータとして関係者が利用しやすいかたちで公表する。

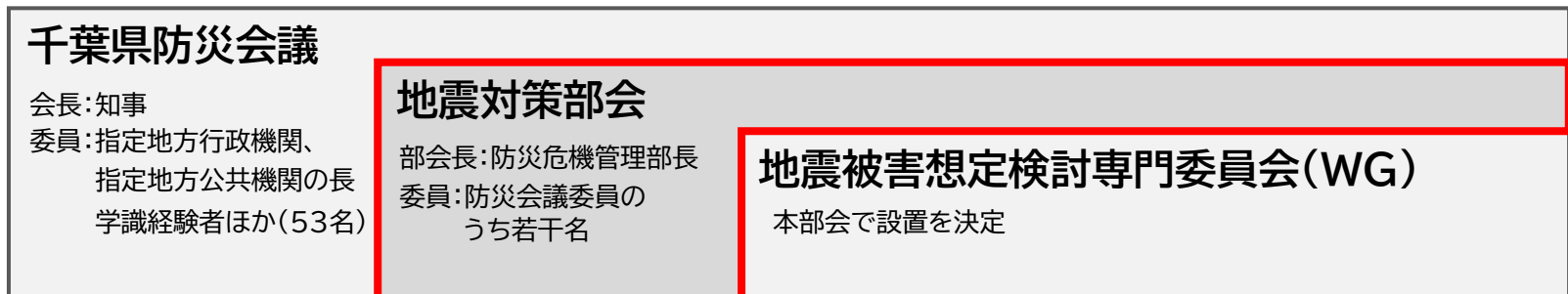
最新の知見と社会情勢を踏まえた被害想定とすること

- 熊本地震や北海道胆振東部地震など、近年の大きな地震が社会に与えた影響を踏まえた想定を行う。
- ビックデータの活用など、最新のデジタル・科学技術を取り入れた客観的な検討を行う。
- 前回調査以降の防災対策の進展や人口構成、就労構造の変化などを反映させるとともに、今後10年の変動を見据えた想定とする。

検討体制とスケジュール

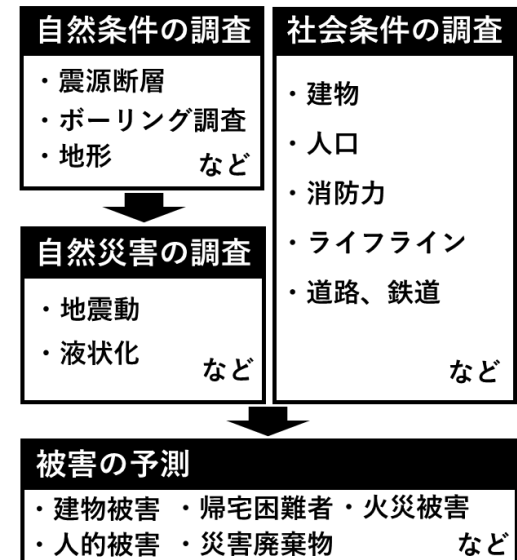
1 検討体制

調査に最新の科学的な知見を取り入れるため、地震対策部会のもとにワーキンググループとして、防災工学や地球科学等の専門家からなる「千葉県地震被害想定検討専門委員会」を設置する。



2 スケジュール

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
部会	10/27 第1回 ★	年間1~2回程度開催		公表 予定
WG		年間3~4回程度開催		
調査 項目	ボーリング調査	自然条件、 自然災害の調査	社会条件の調査 被害の予測	



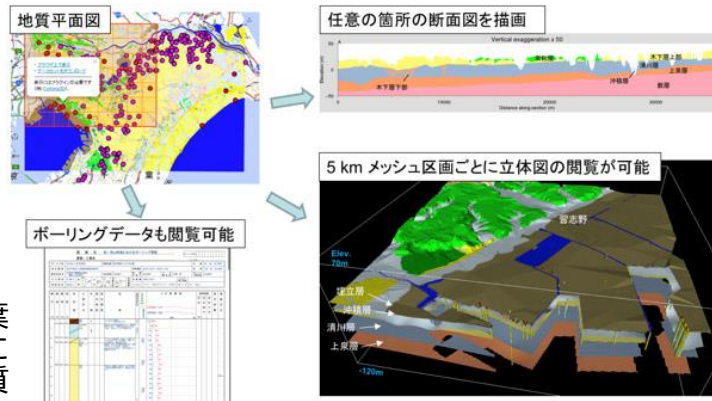
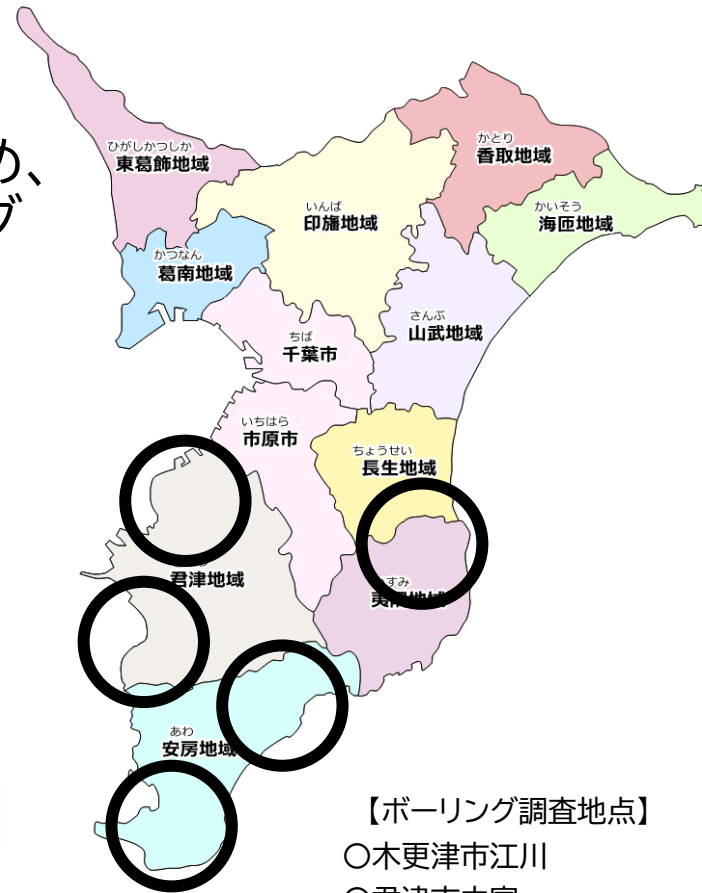
ボーリング調査について

1 ボーリング調査の実施

令和5年度は、被害想定の精度の向上を図るため、既存のデータが少ない県南部5か所でボーリング調査を実施

2 実施の背景

地表での地震の揺れに大きな影響をおよぼす地下浅部の地盤の状況について、近年の研究成果や新たな調査手法を被害想定に反映させるため



【都市域の地質地盤図】

(国研)産業技術総合研究所と千葉県環境研究センターの共同研究により千葉県北部地域の浅部地質構造を三次元で可視化

【ボーリング調査地点】

- 木更津市江川
- 君津市中富
- 館山市長須賀
- 鴨川市前原
- いすみ市岬町和泉